

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2020-9698 (P2020-9698A)

【公開日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-002

【出願番号】特願 2018-131887 (P2018-131887)

【国際特許分類】

F 2 1 V 7/09 (2006.01)

F 2 1 V 29/503 (2015.01)

F 2 1 V 29/70 (2015.01)

F 2 1 V 7/00 (2006.01)

F 2 1 V 7/22 (2018.01)

F 2 1 V 5/00 (2018.01)

F 2 1 Y 115/10 (2016.01)

【F I】

F 2 1 V 7/09 1 0 0

F 2 1 V 29/503

F 2 1 V 29/70

F 2 1 V 7/00 3 2 0

F 2 1 V 7/22

F 2 1 V 5/00 3 2 0

F 2 1 Y 115:10

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 1 日 (2021.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照明器具であって、

可視光を照射する照明用 L E D 及び紫外線を照射する U V L E D が実装面に実装された L E D 基板と、

前記実装面に対向する第 1 の主面及び該第 1 の主面に平行な第 2 の主面を有し、前記照明用 L E D に対応する位置において前記第 1 の主面から前記第 2 の主面にかけて相対的に広角に開口する反射面で画定される第 1 の開口孔、及び前記 U V L E D に対応する位置において前記第 1 の主面から前記第 2 の主面にかけて相対的に狭角に開口する反射面で画定される第 2 の開口孔を有する反射鏡と、

前記 L E D 基板及び前記反射鏡を相互に固定する器具筐体とを備える照明器具。

【請求項 2】

前記 U V L E D が複数の U V L E D からなり、前記第 2 の開口孔が複数の第 2 の開口孔からなり、前記複数の U V L E D が前記照明用 L E D を中心とする円周上に配置され、前記複数の第 2 の開口孔が前記第 1 の開口孔を中心とする円周上において前記複数の U V L E D に対応して配置された、請求項 1 に記載の照明器具。

【請求項 3】

前記反射鏡の第２の主面側に配置され、前記第１の開口孔を覆う粗面化された拡散領域及び前記第２の開口孔を覆う透明領域を有する前面ガラスをさらに備えた請求項１又は２に記載の照明器具。

【請求項４】

前記拡散領域の粗面化の処理が、前記前面ガラスの上面又は下面の少なくとも一方のすり加工又はフロスト加工である、請求項３に記載の照明器具。

【請求項５】

前記反射鏡が、前記第１の主面側の第１の反射鏡及び前記第２の主面側の第２の反射鏡の積層体からなり、前記第１の開口孔の前記反射面及び前記第２の開口孔の前記反射面のそれぞれが前記第１の反射鏡と前記第２の反射鏡との間で連続的に形成されるように前記第１の反射鏡と前記第２の反射鏡とが当接された、請求項１から４のいずれか一項に記載の照明器具。

【請求項６】

前記第１の反射鏡と前記第２の反射鏡の当接面において、前記第１の反射鏡又は前記第２反射鏡の一方が前記第１の開口孔及び前記第２の開口孔の全体を囲む凸部を有し、前記第１の反射鏡又は前記第２の反射鏡の他方が前記凸部と嵌合する凹部を有する、請求項５に記載の照明器具。

【請求項７】

前記反射鏡が、金属材料が蒸着された樹脂材料で構成されたものである、請求項１から６のいずれか一項に記載の照明器具。

【請求項８】

前記反射鏡が、プレス加工された金属材料で構成されたものである、請求項１から５のいずれか一項に記載の照明器具。

【請求項９】

前記ＬＥＤ基板の前記実装面に対向する基板背面に接触配置されたヒートシンクをさらに備える、請求項１から８のいずれか一項に記載の照明器具。